

まちの魅力を「再発見」し、未来につなげよう！



田野 香織

いながわ 特派員報告



山本のゆり

昭和30年4月10日、中谷村と六瀬村が合併して猪名川町が誕生しました。ニュータウンの開発、鉄道の開通と共に人口も増え、今年の4月10日には町制施行60周年の節目を迎えます！これを記念して26日には60周年記念式典が開催され、古き良き伝統の猪名川音頭も披露されるなど、今年の猪名川町は大盛り上がりです！！

60周年実行委員会では、猪名川町の魅力をみんなで「再発見」することをテーマとして、さまざまなイベントが企画されています。

町制施行60周年記念に向けて、昨年から実行委員会が始動しています。ご自身も昨年ちょうど60歳を迎えられた実行委員長の辻口さんにお話を伺いました。

60周年は猪名川町の再スタート

60周年実行委員長 辻口 広美さん



60周年って、人間でも大事な節目の年ですよ。僕も昨年60歳になり、一足先に再スタートを切りました。

猪名川町は同じ時代を生きた幼馴染みたいなもの。そんな猪名川町を未来に残したいと思って、実行委員長を引き受けました。僕を含めた実行委員10人で、まちの魅力「再発見」をテーマに、多くの人が参加できるイベント

トを企画しています。

魅力の再発見イベント

60周年記念のイベントは今年一年を通して企画しています。でも、「60周年をお祝いしました！」で終わるのではなく、これをきっかけに今後を継続していけることを考えました。そこで猪名川町の魅力を考えてみると、豊かな大自然があるじゃないですか。だから「山」と「川」の魅力いっぱいイベントを企画しています。詳しくは式典や広報いながわで紹介させていただきます。

みんなの未来のまちをつなぐ

60周年を節目に、もっと若い力が発揮できて、町内だけでなく町外からもどんどん人が集まる、そんなまちにしていきたいですね。いままちをつくっていくには、個人では限界があります。仲間と一緒にまちの未来を考えて、人任せにせず、やれることは自分達でやっというパワーが必要。猪名川町の未来をみんなでつくっていきましょう。



▶「猪名川町制施行 60 周年記念事業実行委員会」の皆さん

猪名川音頭を紹介します



尾川さん

今回の取材の中で、初めて猪名川音頭を知ることになった特派員。このままでは60周年を迎えられない！ということで、実行委員会が猪名川音頭の啓発を担当する尾川さんと尾川さんにお話を伺いました。

特派員 長年住民でありながら、猪名川音頭を知りませんでした。

尾川さん 猪名川音頭があるのは知っていましたが、私も歌詞は最近までよく知らなかったんです。たまたま聴く機会があって、とてもいいなあって心に響いたんです。

田尻さん 猪名川音頭は猪名川町の美しい四季と人の温かさが歌われていて素敵ですよ。まして振付けもあるなら、ぜひみんなで踊れたらと。

特派員 式典で猪名川音頭を披露するきっかけは。

尾川さん 猪名川町らしい伝統のあるこの猪名川音頭を多くの人に知ってもらいたいという思いが原点です。

4月4日のいながわ桜まつりで猪名川音頭を踊ります。皆さんも一緒に踊りましょう！



田尻さん

特派員 ひと言PRをどうぞ。

田尻さん 今回をきっかけに、猪名川音頭を知る人が増えて、世代を超えて伝え、楽しめたら嬉しいですね。



▲楊津小の子ども達とお手本で踊る田尻さん

広がる！猪名川音頭の輪

～東山自治会民謡の会「すみれ会」～

町では、60周年記念事業の一環として猪名川音頭の動画を募集し、12組もの応募（投稿動画一覧はQRコードから）があったそうです。その中から、以前から猪名川音頭を踊っていた「すみれ会」の皆さんにお話を伺いました。



『私達は、昨年東山自治会の40周年記念式典で猪名川音頭を踊りました。今回、楊津小の子ども達も猪名川音頭を練習し、動画投稿しているのので、今年の楊津盆踊り大会では、子ども達やいろんな世代の人たちと一緒に踊れることが、とても楽しみです。』



◀「すみれ会」の皆さん

60周年記念事業の一部をご紹介します！

60周年オリジナル フレーム切手

4月から町内および川西市内の郵便局限定で60周年オリジナルフレーム切手（1000シート限定・1,230円（税込））を販売します。切手のデザインには町の豊かな自然や文化財などが紹介されています。いなぼうも切手に登場し、町の見どころをPRしています！

川の遊園地

夏には北田原周辺の猪名川で子ども達とその家族が川で遊べるイベントとアトラクションを開催します。

トレイルランニング

秋には自然豊かな町北部の大島小学校から大野山周辺を舞台に、トレイルランニング大会を開催します。

カウントダウンアルバム

カウントダウンアルバムは町ホームページと町役場1階ロビーのカウントダウンボードに4月10日まで掲載中です。

カウントダウンアルバムには町の素敵な皆さんが毎日登場します。私達特派員も「42日前」に登場しました。ぜひご覧ください。



～編集後記～

少し前に旧友から「若い時は都会に憧れたけど、猪名川町の自然は財産や。あんないいところはなよ」とメールが。私の家の目の前には、農業用ため池、その先にはいくつも山が見えます。夏には子どもと川で遊びます。私にとっては当たり前だけど、これが猪名川町の魅力なのですね。

今回をもちまして、特派員を卒業させていただくこととなりました。子育て中で時間の融通のきかない私を、取材先の皆さん、役場の皆さん、非常に温かく迎えてくださいました。

消防署の訓練は体力の限界でした。今となってはすべてが思い出です。皆さんとのたくさんの出会いに感謝しています。ありがとうございました。（田野香織）





手料理で生活習慣病予防!

◀ 2月27日、保健センターで「男の料理教室」が開催されました。調理実習を通して、生活習慣病を予防をすることが目的で、当日は低カロリーな和食のメニューで「さばのみそ煮」、「タコとわかめとキュウリの酢の物」、「にんじん入りきんぴら」(総カロリーは600cal)を作りました。参加した男性12人はおぼつかない手つきながらも、さばの三枚おろしに挑戦し、美味しいさばのみそ煮などを味わいました。



親子で陶芸楽しいな♪

◀ 3月8日、子育て支援センターで「親子で楽しむ陶芸」が行われました。陶芸用の粘土を、それぞれイメージした形に成形していき、かわいらしいスタンプを押したお皿や「雪だるま」を作った子どももいました。完成した作品は2週間天日干しさせたあと、窯で焼きあげ、子育て支援センターに届けられます。

ふおと にゅ〜す



いつまでも安全な運転を

▶ 3月10日から、春の恒例行事「静思館おひなまつり」の準備が始まりました。約700点の雛飾りが畳一面に飾り付けられ、訪れる人を毎年楽しませています。今年は4月1～5日まで開催され、琴の演奏(5日)や甘酒の振る舞い(2、3日)などが予定されています。



静思館から春の気配を 感じます♪♪



小学生の歌声が気仙沼へ

▶ 3月11日、東日本大震災から4年を迎えたこの日、白金小学校で「3・11追悼集会」が開かれ、児童や教職員が作詞・作曲した復興支援ソング「WA(わ)」を児童全員で合唱しました。

この様子は、同校が交流を続けている宮城県気仙沼市立気仙沼小学校へビデオレターとして届けられます。児童会運営委員長の川合玲央くんは「ぼく達が作った歌を聴いて、楽しい気持ちになってほしい。」と話しました。



←←いなぼうマークのある画像を Aurasma で読み込むと当日の様子が動画でご覧いただけます。アプリの使い方はホームページをご覧ください。

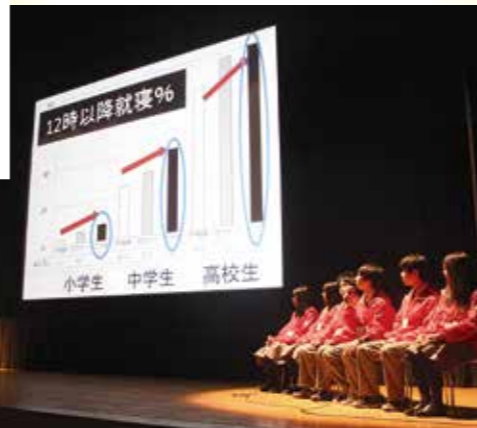


▲ 3月17日、社会福祉会館で二輪車を重点としたシルバードライバーズスクールが開催されました。シミュレーターを使っての車の運転や、白バイ隊員の指導のもと二輪車に乗る際の注意事項や、車の死角について講習を受けました。川西警察署管内では二輪車の交通事故が多発しており、「ゆずり合いの心」を持って運転するよう、呼びかけられました。



青少年が考えるスマホ対策!

▶ 2月21日、文化体育館で「第3回猪名川町青少年フォーラム INAGAWA スマホサミット2015」が開催され、SWING - BY 実行委員会の高校生による小中学生へのスマホの「公開」模擬授業をはじめ、パネルディスカッションなどが行われました。サミットの最後には、「①スマホをやめてどんどん外へ」「②困ったら大人に相談」「③みんなでルールを作ろう」を新スマホサミット宣言として、SWING - BY 実行委員長 松永翔満君が宣言し、採択されました。



▶ 3月8日、北田原マス釣り場で、「猪名川マス釣り大会」が行われました。前日の雨により、川が増水しており、マスの姿が見えない状況での釣りは至難の業。優勝した浅田浩史さんの(京都府南丹市)のマスも57cmと、例年より小ぶりでしたが、参加者は思い思いに楽しめました。



元気な「マス」釣れたよ!

